

数学 1

第 1 問

[ 1 ]  $\alpha = \frac{\sqrt{7} - \sqrt{3}}{\sqrt{7} + \sqrt{3}}$  とする。  $\alpha$  の分母を有理化すると

$$\alpha = \frac{(\text{ア}) - \sqrt{(\text{イウ})}}{(\text{エ})}$$

となる。

2 次方程式  $6x^2 - 7x + 1 = 0$  の解は

$$x = \frac{(\text{オ})}{(\text{カ})}, (\text{キ})$$

である。

次の 0 . ~ 3 . の数のうち最も小さいものは (ク) である

$$\begin{array}{ll} 0. \frac{(\text{ア}) - \sqrt{(\text{イウ})}}{(\text{エ})} & 1. \frac{(\text{エ})}{(\text{ア}) - \sqrt{(\text{イウ})}} \\ 2. \frac{(\text{オ})}{(\text{カ})} & 3. (\text{キ}) \end{array}$$

$$\begin{aligned} \alpha &= \frac{\sqrt{7} - \sqrt{3}}{\sqrt{7} + \sqrt{3}} \\ &= \frac{(\sqrt{7} - \sqrt{3})^2}{(\sqrt{7} + \sqrt{3})(\sqrt{7} - \sqrt{3})} \\ &= \frac{7 - 2\sqrt{21} + 3}{7 - 3} \\ &= \frac{10 - 2\sqrt{21}}{4} \\ &= \frac{5 - \sqrt{21}}{2} \end{aligned}$$

$6x^2 - 7x + 1 = (6x - 1)(x - 1)$  より  $6x^2 - 7x + 1 = 0$  の解は  $x = \frac{1}{6}, 1$

$4 < \sqrt{21} < 5$  より  $5 - \sqrt{21} < 2$  であるため  $\frac{5 - \sqrt{21}}{2} < 1$ 、よって  $\frac{2}{5 - \sqrt{21}} > 1 > \frac{1}{6}$

。このため 4 つの数のうち最も小さいものは  $\frac{1}{6}, \frac{5 - \sqrt{21}}{2}$  のいずれかである。

$\frac{1}{6} - \frac{5 - \sqrt{21}}{2} = \frac{3\sqrt{21} - 14}{6}$  について、

$$(3\sqrt{21})^2 = 189, 14^2 = 196$$

より

$$\frac{1}{6} - \frac{5 - \sqrt{21}}{2} = \frac{3\sqrt{21} - 14}{6} < 0 \Rightarrow \frac{1}{6} < \frac{5 - \sqrt{21}}{2}$$

よって最も小さい数は2 . の  $\frac{1}{6}$

[ 2 ]  $n$  を整数とし、 $x$  の連立不等式

$$\begin{cases} 6x^2 - 11nx + 3n^2 \leq 0 & \dots (I) \\ |3x - 2n| \geq 2 & \dots (II) \end{cases}$$

を考える。

(I) の左辺は

$$6x^2 - 11nx + 3n^2 = ((ケ)x - n)((コ)x - (サ)n)$$

と因数分解される。

$x = 1$  が (I) を満たすような整数  $n$  の範囲は

$$(シ) \leq n \leq (ス)$$

である。  $x = 1$  が (II) を満たすような整数  $n$  の範囲は

$$n \leq (セ), (ソ) \leq n$$

である。

よって  $x = 1$  が上の連立方程式を満たすとき、 $n = (タ)$  である。  
 $n = (タ)$  のとき、連立方程式の解は

$$(チ) \leq x \leq \frac{(ツ)(ト)}{(テ)(ナ)} \leq x \leq \frac{(二)}{(又)}$$

である。

(I) の左辺は

$$6x^2 - 11nx + 3n^2 = (3x - n)(2x - 3n)$$

と因数分解される。

$x = 1$  が (I) を満たすとき、 $x = 1$  を (I) に代入すると

$$6 - 11n + 3n^2 \leq 0 \Rightarrow (3 - n)(2 - 3n) \leq 0$$

この条件を満たす  $n$  は  $\frac{2}{3} \leq n \leq 3$  となるが、 $n$  は整数であることから  $n$  の範囲は  $1 \leq n \leq 3$  となる。

$x = 1$  が (II) を満たすとき

$$\begin{aligned} |3 \times 1 - 2n| \geq 2 &\Rightarrow 3 - 2n \geq 2 \text{ または } 3 - 2n \leq -2 \\ &\Rightarrow n \leq \frac{1}{2} \text{ または } \frac{5}{2} \leq n \end{aligned}$$

$n$  は整数であるため、 $n \leq 0$ ,  $3 \leq n$ .

よって  $x = 1$  が上の連立不等式を満たすとき  $n$  は「 $1 \leq n \leq 3$ 」かつ「 $n \leq 0$ ,  $3 \leq n$ 」となる整数である。このような整数は  $n = 3$  のみ。

$n = 3$  のとき上の連立不等式は

$$\begin{cases} 6x^2 - 33x + 27 \leq 0 & \dots (I) \\ |3x - 6| \geq 2 & \dots (II) \end{cases}$$

となる。

$$6x^2 - 33x + 27 = 3(x-1)(2x-9)$$

より

$$6x^2 - 33x + 27 \leq 0 \Rightarrow 1 \leq x \leq \frac{9}{2}$$

一方

$$\begin{aligned} |3x-6| \geq 2 &\Rightarrow 3x-6 \geq 2 \text{ または } 3x-6 \leq -2 \\ &\Rightarrow x \leq \frac{4}{3} \text{ または } \frac{8}{3} \leq x \end{aligned}$$

$1 < \frac{4}{3} < \frac{8}{3} < \frac{9}{2}$  より、(I)、(II) が共に成り立つ範囲は

$$1 \leq x \leq \frac{4}{3}, \frac{8}{3} \leq x \leq \frac{9}{2}$$